

2021年5月13日
下地島空港活性化協議会

第4回下地島空港活性化協議会を開催しました

下地島空港活性化協議会（会長：座喜味一幸）は5月13日、第4回協議会を開催しましたのでお知らせいたします。本協議会は、受入環境整備や航空路線プロモーションなど、下地島空港活性化に資する各種事業を立案し実施することを目的として、2020年8月に宮古島市、沖縄県、（一社）宮古島観光協会、宮古島商工会議所、下地島エアポートマネジメント株式会社（以下、「SAMCO」）が立ち上げた組織です。

第4回協議会の冒頭、会長を務める宮古島市座喜味市長より以下の通り挨拶がありました。

「宮古島市はまん延防止等重点措置の対象となっているが自粛を徹底し速やかに新型コロナウイルス感染拡大を抑え込み、経済回復を実現しなければならない。経済回復のために下地島空港の羽田発着枠の確保は重要であり、発着枠の確保、下地島空港の活性化、そして宮古島市の更なる発展を目指していきたい。」

その後沖縄県より2020年5月に公表された羽田発着枠政策コンテストにおいて、5位の「三沢・羽田線」、6位の「下地島・羽田線」については、2021年3月末からの1年間をトライアル運航期間とし、その実績を再度評価した上で発着枠の最終的な配分先を決定する当初予定が新型コロナウイルス感染症の影響による航空需要の減少等に鑑み、トライアル運航期間が1年間延期され2022年3月末から1年間に変更となった旨報告がありました。

またSAMCOより下地島空港の利用状況について報告がなされ、航空路線の維持・拡大に向けた施策について意見交換が行われたほか、羽田空港発着枠政策コンテストにおいて提案を行った取組みに係る進捗状況の共有ならびに2021年度に供用が予定されている伊良部野球場へのスポーツ合宿等の誘致や空港での水際対策としてのPCR検査センターの検討状況やオンライン旅行商品の認知度向上といったwithコロナ時代の観光地づくり等今後の取組みに向けた協議が行われました。

本協議会は、四半期に一度の頻度での開催を予定しております。今後も官民一体となって下地島空港活性化に向けた施策を立案・推進し、宮古諸島のさらなる活性化を目指します。



第4回下地島空港活性化協議会の様子

■ 第4回協議会概要

日時： 2021年5月13日(木) 10:30~12:00

場所： 宮古島市役所会議室

出席者： 座喜味 一幸 宮古島市長(協議会会長)
宮城 嗣吉 沖縄県文化観光スポーツ部長(協議会事務局)
下地 義治 宮古島商工会議所 会頭
平山 茂治 (一社)宮古島観光協会 専務理事
伴野 賢太郎 下地島エアポートマネジメント株式会社 代表取締役社長